

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可  
二〇一八年八月十二日発行(毎月十八回)一、二、三、五、六、七の日発行  
SSKP通巻第六九五五号

SSKP



# Aikoh

福祉社会への道を照らす 愛の灯台  
～一隅を照らす実践、地域への貢献～

**No.66** 2018年(平成30年)8月20日

社会福祉法人 愛光  
 発行人 法澤 奉典  
 編集人 広報委員会  
 〒285-0807千葉県佐倉市山王2-37-9  
 TEL.043-484-6391  
 FAX.043-484-6396

E-MAIL [mail@rc-aikoh.or.jp](mailto:mail@rc-aikoh.or.jp)  
 U R L <http://www.rc-aikoh.or.jp>  
 印刷：ワークショップかぶらぎ



車イスになつて  
 もしかしたら止まるんじゃないかな。  
 歩けるんじゃないかな。なんでおもて  
 みたりして。でも車イスなんだ私。  
 7月5日であつた5年になる私もどかどか  
 有文と、ホロホロ泣いてるよ。  
 でもやっぱりときどきゆめをみるんだよ。  
 うまげでる私！……………ああ。  
 ゆめはさあたらうまげなつた。くわしい。  
 私、まげない。

—CONTENTS—

特集：バリアフリーを考えよう！…………… 2～3P

2017年度 事業報告・決算報告…………… 4～7P

NHKハート展・ふるさと納税・福祉学習…………… 8～9P

日誌抄録・感謝のコーナー…………… 10P

愛の灯台基金だより・編集後記…………… 11P

QRコードから  
愛光ホームページを  
ご覧いただけます。  
〈スマートフォン対応〉



最新情報を  
随時配信中!

地域共生社会を目指して～誰もが どこでも 出かけた～

# バリアフリーを考えよう!



京葉銀行では、「どなたでも、どこでも、むりなくご来店いただける」をコンセプトに、店舗のバリアフリー化がはかられています。全ての方が利用することに配慮したユニバーサルデザインATMが設置されています。



ホームの端に、電車のドアと連動するホームドアがあると線路に落ちる心配がなくなるのですが・・・



点字ブロックの上に車が止めてあったり、物が放置してあると、視覚障害者にとって大変危険です。



↑ 成田

鹿島川

文巻橋

物井駅

千葉

身障者用乗降場は、身体障害の方や高齢の方がスムーズに乗り降りするための専用の駐車スペースです。  
また、大型店舗等には身体障害者専用の駐車場が設置されています。時々一般車両が止められており、健常者の方の配慮をお願いします。



いとう  
クリニック

山王小

佐倉山王  
郵便局

千葉敬愛  
短大

京葉銀行  
Yac's  
薬局

はちす苑

郵便局では、点字ブロックの設置はもちろん、音声ガイド付きATM、車いすの無料貸し出し等バリアフリーに配慮しています。  
また、高齢者等への支援など「困ったときにはいつでも応援します」と、地域支援に積極的に取り組んでいます。

## バリアフリーを考える



地域の中で、お年寄りや障害者、子どもから大人まで、一人ひとりが生きがいを持って生活することができる「地域共生社会」づくりが求められています。

地域共生社会を考える中で、今回は街の中での『移動』について考えてみました。街の中を見ると、誰もが同じように移動できる環境が整っているとは限りません。私たちが何気なく行動している場所でも、バリア(=困難な場所)があります。「バリアフリー」とは、このバリアを取り除くことをいいます。私たちの暮らしている山王はどうでしょうか、取材してみました。



視覚障害者の方が、横断歩道を渡るのは大変危険です。できれば音の出る信号機があるといいのですが・・・

グループホーム  
山王の家



横断歩道等では、歩道と車道の段差を同じにしています。特に車イスやベビーカーは使いやすいです。

↑  
JR  
佐倉駅

ホーム  
センター

動物病院

公園



愛光

根郷中

南部  
図書館



地域福祉  
センター

点字ブロックは、視覚に障害のある人が安全に歩くための道しるべです。このように破壊すると歩きにくくなります。

佐倉IC  
↓

東関道自動車道

# 2017年度 事業報告



## 法人本部

社会福祉法人制度改革を主眼とする社会福祉法改正（2016年3月成立）のポイントは、①ガバナンスの強化②財務規律の強化にあった。①については、6月24日召集の定時評議員会での役員選任をもって本格的な始動となった。評議員会に与えられた機能や内部理事による日常業務の執行など、従来行ってきた本部機能を中心とした法人運営が法律上で明文化・追認され根拠が明確化された。②の関係では、社会福祉充実残額を保有する法人について、社会福祉事業又は公益事業の計画の作成が義務付けられた。法人では、5年間の福祉充実計画を作成し千葉県への承認を得た。

### ●視覚障害者総合支援センターちば移管1年

愛光63年の歴史の中で、本格的な事業再編は3度目である。1994年の事業所全面移転の際には、盲児施設と救護施設を身体障害者療護施設と重度身体障害者更生援護施設に種別転換した。二度目の再編は、1997年以降の地域ニーズ対応型事業の重点化と展開（高齢介護系、障害通所系、相談支援系サービス）である。そして昨年3月の視覚障害情報提供施設及び関連事業の千葉県視覚障害者福祉協会への経営移管が3度目の転換にあたる。今後隣接する地域においてそれぞれ独自性をもった活動を展開していくことになったが、「グループ法人」としてお互い高めあう協働関係を築いていく努力がさらに必要である。

### ●第Ⅲ期中期経営計画見直し・推進（2017～2019年）

社会福祉充実計画の作成に伴い、第Ⅲ期中期経営計画の見直しを行った。内容としては、特別養護老人ホームの増床（4床）に伴う改築工事、障害グループホーム整備費、地域共生社会に関する事業の検討等である。子ども食堂については、プロジェクトを編成して協議したい。

### ●山王の家（障害者グループホーム）オープン

2016年2月から着工した障害者グループホーム山王の家（定員10名）が11月にオープンした。法人としては2軒目のグループホームで、命名は地名から「山王の家」とした。一人ひとりの利用者にとって、やすらぎの家となるような支援をしていきたい。

## 障害者支援事業部

### ●ルミエール（障害者支援施設）稼働率：施設入所95.8%（前年比0.5%減）・短期入所72.2%（同9.8%増）

「利用者の視線に立ち、支援を見直す」が施設のスローガンだった。自己表現が難しい利用者の意思をどれだけ確認できるか、共感できるかが常に問われる課題である。共感を考える意味で職員が特殊浴槽を体験する内部研修や、合理的配慮についての研修を行い、職員集団で点検し利用者がその人らしい生活を送れるよう支援を進めた。

### ●めいわ（障害者支援施設）

#### ■入所部 稼働率：施設入所97.7%（前年比1.4%増）・短期入所100.1%（前年比3.9%減）

「慣習を見直し、更なる権利擁護意識の向上を！」がスローガンだった。情報伝達の場面で

利用者に細かく伝えるよう配慮した。権利擁護については、千葉県虐待防止権利擁護研修に職員が10数名参加した。研修のフィードバックとして、不適切な対応事例を通して、グループディスカッションを実施、言葉遣い等適切な対応の仕方を確認した。

### ■通所部（根郷通所センター：生活介護）稼働率124.5%（前年比0.6%増）

「一人ひとりが主人公となる支援を！」がスローガンだった。日々の支援の中で、どのように利用者を理解し、どのような関わりが“主人公”になることができるのか、自信を持って生活できるような声掛けを職員一人ひとりが意識して対応した。

### ●リホープ（障害者支援施設）稼働率：施設入所短期入所合算95.1%（前年比1.1%増）

「見つめ直そう！利用者視点をより深く」がスローガンだったが、利用者へのアンケート調査では、合理的配慮が足りないとの回答があった。この結果を踏まえ職員会議で改善に向けての協議を行った。2回目のアンケートでは「職員の言葉遣いがやさしくなった」との回答があり、改善が認められた。今後も利用者の声を大切に更なる改善に努めたい。

### ●佐倉市よもぎの園（就労継続B型）稼働率：86.7%（前年比3.2%減）

「働く喜びをバックアップ！」がスローガンだった。当事業所の指定管理を受託して10年目を迎えたが、利用者支援にあたっては「利用者を主体に据える視点」を大切してきた。その成果として活気ある職場に変わり、当年度は月額平均工賃が指定管理移行当初の約3倍に達し、千葉県の平均工賃を上回り過去最高の17,000円台に達した。

### ●ワークショップかぶらぎ（就労継続B型・自立訓練）稼働率：B型64%（4%増）訓練54%（7.7%減）

「当事者の力を信じよう～変化の力は利用者の中にある～」がスローガンだった。利用者の持つスキルと社会経験を活かし、「実践的で責任ある仕事が利用者の持つ力を引き出す」との考え方を軸に、取引先との連絡調整、情報発信、館内清掃等を担う部門を設立。実践的な仕事に主体的に取り組み、生き生きとする利用者の姿から“変化”を感じた。

### ●ジョーの家（障害者グループホーム）

「暮らしに潤い～居住環境にちょっとした変化を～」がスローガンだった。玄関周りに植栽を取り入れ潤いのある生活環境の改善を行った。また消防法改正により自動火災通報設備を設置した。

## 高齢者福祉事業部

事業部全体のスローガンは「豊かな発想、確かな実践、地域に築こう はちすの未来」であった。2018年度の報酬改正と日常生活支援総合事業の本格スタートに向けて、地域との連携強化、地域への発信力強化、佐倉市南部地域の高齢者福祉の拠点となるための基礎・土台作りを目指した。認知症カフェ、介護者のつどい、地域交流スペースの無料化、重度心身障害者入浴支援等、地域とのつながり、地域貢献事業に力を入れた。

### ●特別養護老人ホームはちす苑 稼働率：特養ショートステイ合算98.1%（前年比0.8%増）

介護、看護、医療（嘱託医）の連携を強化し「丁寧なケアと看取りケア」を実践することで、入院者数が前年度より約40%減となり、稼働率に大きく貢献した。看取りケアは、退所者19名のうち13名で実施した。また業務改善の継続で余暇時間の有効活用を実施した。

### ●ショートステイはちす苑 稼働率：94.7%（前年比0.7%減）

特養の空所部屋の活用、緊急利用の受入れ、重度者（医療依存度の高い方）の受入れを積極的に行ったが、急なキャンセルなどが発生し前年度より稼働を下回った。ショートステイにお

いても看取りケアを2名実施した。今後も地域のニーズに積極的に関わりたい。

●デイサービスはちす苑 稼働率：72.2% (前年比2.7%増)

高齢障害者の受入れ(障害者総合支援法での受入)が可能である基準該当生活介護サービスが増えている。契約総数6名であるが、延べ利用日数が400日を超えた。施設入所や他界の影響で登録数が伸び悩んだ。新規利用獲得のためには、送迎体制の見直し、新しいサービス内容の開発、外部向けイベント等を増やすなど地域での認知度を上げる必要がある。

●ホームヘルプサービスはちす苑 月平均契約者数50.6件(前年比6.6件増)

契約件数については、施設入所や他界する方が多く目標を下回った。南部圏域訪問介護連絡協議会「ヘルパーの和さくら」を立ち上げ、防災に関する研修会を実施した。

●ケアプランはちす苑 月平均契約数73.5件(前年比3.9件増)

契約件数は目標を達成したが、入院などで実績は伸び悩んだ。「介護者のつどい」事業を担うことで外部とのつながりを持つ機会は増えたが、総合事業の関係から地域への意識をさらに強化する必要性を感じた。

地域福祉事業部

●南部児童センター・学童保育所

児童センター年間利用数30,443名(前年比7.3%減)1日平均100.5人

スローガンは「未来の創造 支え合う子どもと支援者」だった。児童センターでは、小学生と高校生の来館者が増え、中学生が減少した。また地域の幼稚園に「認定こども園」が開設されたことで乳幼児の行き場所が増え、結果として利用減につながった。子育てコンシェルジュの相談会や南部保健センターや地域の子育て支援者等の協力を得ながら利用者ニーズに沿った企画を開催した。祝日や学校の振替休業日に開館し、子供の居場所作りに努めた。

学童保育では、根郷小、寺崎小学校区での過密化が顕著だった。和田学童では200%近い登録で公民館の空室を借用して対応した。新たな企画として全7学童合同の「千葉県民の日スポーツ交流会」(佐倉市主催・順天堂大協力)を計画、チャーターバスで各学童を巡回し子どもたちを送迎した。昼食時の弁当の提供は、高評価だった。

●総合相談センター(障害者生活支援センターアシスト・南部地域包括センター)

スローガンは「共に考え、共に歩む」だった。地域との距離を縮めるため、より小さい集団への出前講座に取り組んだ。南部圏域訪問介護連絡協議会の立ち上げ支援については、事業所共同での研修会を実施、参加事業所間の絆も強くなった。また地域の課題に取り組むべく、山王地域ケア会議を実施した。地域課題の抽出から課題の解消に向けて今後も取り組みたい。アシスト関連(障害相談)では、「包括に障害のことも相談できる」と地域に認識されてきたと実感でき、民生委員と連携して障害の対応をするケースも増えてきた。

●南部地域福祉センター 利用者実績数61,189人(前年比96.6%)

スローガンは、「あなたもわたしも活躍する地域づくりを目指そう」だった。地域福祉推進のため積極的に推進している「サロン」「教養教室」「各種講座」「地域福祉活動の支援」等の事業は、元気な高齢者に活躍してもらおう取組みだが、参加者の世代交代は進んでいるが、参加者数に大きな変化はなかった。愛光たすけあい移送サービスは、交通空白地域の利用者拡大を目指した取組みだが、適切な支援が見つけられず利用は低調である。改善策を検討したい。

2017年度 決算報告

法人単位資金収支計算書 第一号第一様式 (自)2017(平成29)年4月1日(至)2018(平成30)年3月31日

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B), 備考. It details the financial performance of the organization for the fiscal year 2017-2018.

法人単位貸借対照表

2018(平成30)年3月31日現在

Table with 7 columns: 資産の部, 負債の部, 増減. It shows the balance sheet as of March 31, 2018, detailing assets, liabilities, and net assets.

# NHKハート展入選おめでとう!

2018年(平成30)年4月26日、東京渋谷にある、東急百貨店で開催された『第23回 NHK ハート展』そこで、1人の女性利用者が輝いていました。リホープ利用者の秋葉純江さんです。2016年3月に思いのたけをつづった詩は、全国応募総数 4,084 通の中から選ばれ、著名人のアートとなりました。展覧会は全国で開催中。(詩とアートは表紙に掲載)



今回秋葉さんの詩をアートに変えてくれたのは、**泊明(とまりあきら)氏** (イラストレーター)

NHK 中心の放送美術に携わり、NHK 解説委員室の社会情勢をイラスト化する仕事をメインに活動中。『NHK おはよう日本』の「ここに注目!」コーナーの政治や社会情勢の挿し絵を担当し活躍しています。2002年には「恐竜3D図鑑」の表紙を担当するなど、大変有名な方です。



### <秋葉さん入選の喜び>

「まさか本当に選ばれるとは思わなかったの、とてもうれしいです。私はもっと単純で簡単な絵になると思っていました。それがこんなにも細かくて素敵な絵になり、感動しました。勇気がわいてきました。今回の入選は励みになりました。挑戦することが一番と感じています。まだまだ納得できないこともあります。今後はマラソンを頑張りたいと思っています。」

### <泊さんインタビュー>

ご利用者さんの立てない苦しさは痛いほど伝わりました。でもその反面、負けられないという思いも感じました。秋葉さんの心の葛藤を藤(ふじ)のつたとし、それを自分で解きほぐく様子を表現しました。ハートのクイーンは女戦士だったそうです。そのたくましさ、ちょうど合っていると思いました。

☆佐倉市のふるさと納税の返礼品に、愛光の障害者の方々の作品が出ています☆  
佐倉市障害福祉課から声がかかり、2015年から返礼品に参加しています。



陶芸作品は手びねり茶碗とおにぎり皿(大・小)、スプーンをセットにしています。ティーセットとして使用したり、ランチセットにしたり、使い方はアイデア次第です。  
紙製品は牛乳パックの再生紙を使用し、一枚一枚漉いています。ティーマットとコースターは、さをり織りという織物で丁寧に織りあがっています。どの製品も手作りですので、ひとつひとつに味わいがあります。

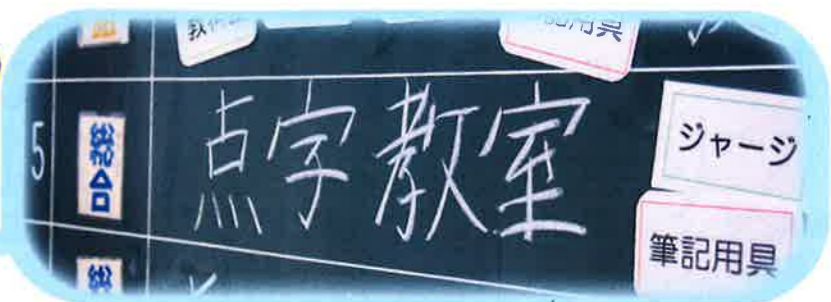
ハートフル愛光の和みセレクション

ふるさと納税のHPへはこちらから→



# 福祉の未来をつくる

## 福祉学習 in 根郷中学校



毎年、愛光のお隣り根郷中学校では“福祉を楽しく学ぶ”福祉学習が行われています。障害特性についての講話、視覚障害をお持ちの石川氏によるお話、点字についての講義・演習、愛光リホープ利用者との交流や愛光でのクリエイティブワーク(日中活動)参加などを行います。実際に点字を打って文章を読んでもらうのは、みなさんと楽しそうに行っていました。



「テニスをするこ(と)がすきです」  
“と”がぬけるだけでこんなに意味が違ふんだと楽しそうに話す生徒さんもいました。



講師：石川龍海氏より(千葉県視覚障害者福祉協会職員)  
毎年声をかけてもらっているこの福祉学習に関われることに、とてもやりがいを感じています。この活動を通して、将来少しでも福祉に興味を持ってもらい、関わりたいと思ってもらえたら嬉しいです。これからも最優先に予定をあけて、取り組んでいきたいと思っています。

### ★愛光でのクリエイティブワーク(日中活動)も体験!!



これからも愛光は福祉学習を応援します!★

### 福祉の名語録

## 『大切なことはね、目に見えないんだよ』

「大切なことはね、目に見えないんだよ」  
サン=テグジュペリの『星の王子さま』のなかで、地球にやってきた王子さまが、自分の星に帰ろうとする間に、こう言い残しました。この「大切なこと」とは何でしょうか。それは、この物語を読み終えたときに、自分なりの答えが見つかるはずですよ。

お伽話の世界で語られるのは、教訓であったり示唆に富むたとえばなしです。第2次大戦中、フランス空軍大尉として戦闘機に乗っていて地中海で消息を絶った作者は空が好きでした。空から見た地球は、子どものときの純粋さを失った大人たちの醜くも浅ましい世界でした。この本が出版された当時(1943年)の事情を考慮するまでもなく、心優しい作者の嘆きは永遠の叫びです。人間とは、愛とは、平和とは……それら

がサン=テグジュペリのいい「大切なこと」ではなかったのではないのでしょうか。

＜王子さまは言いました。

「みんなは特急列車に乗りこむけど、いまではもう何をさがしているのかわからなくなってる。だからみんなはそわそわしたり、堂々巡りなんかしてるんだよ」

それからまた、つづけて言いました。

「ごころうさまな話だ」>(本文154頁)

サン=テグジュペリは、まるで星の王子さまが自分の星に帰っていったように、大空のかなたに消えていきました。その最期は、まるでこの物語のもうひとつのラストシーンのようです。

(法澤 奉典・のりざわ ともり)

### 感謝のコーナー (2018.4～2018.6)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

- 【個人】有山賢一、宮嶋としえ、仙波裕隆
- 【団体】地域福祉センター自力整体教室

### 日誌抄録

(2018.4.1～2018.6.30)

(本)法人本部 (後)愛光後援会「愛の灯台基金」(ル)ルミエール (め)めいわ (リ)リホープ  
(は)はちす苑 (根)根郷通所センター (よ)よもぎの園 (か)ワークショップかぶらぎ (ジ)ジョーの家  
(ア)生活支援センターアシスト (包)南部地域包括支援センター (児)児童センター・学童保育  
(地)南部地域福祉センター

#### 4月

- 2日 辞令交付式
- 2日 新任職員研修(～4日)
- 4日 メンターマッチング研修
- 8日 プロのターミナル(は)
- 21日 あいとひかりのコンサート(後)
- 26日 NHK ハート展受賞式(リ)



#### 6月

- 1日 平成31年度採用試験①
- 14日 試用期間終了面接(～15日)
- 20日 夜間想定避難訓練(本)
- 21日 根郷中福祉学習(点字教室)
- 9日 理事会
- 19日 介護マイスター養成研修(は)
- 21日 権利擁護・虐待防止研修(本)
- 22日 山王地域ケア推進会議(包)
- 24日 評議員会
- 27日 感染症対策訓練研修(本)



#### 5月

- 10日 監事監査(他24日・25日・29日)
- 16日 採用後1年面接(～17日)
- 23日 事例検討会(ア)
- 25日 メンター・面談研修(本)
- 30日 口腔ケアについて研修(は)



愛光後援会  
愛の灯台基金だより

作:めいわ利用者

2018.7.1～2019.6.30

新年度になりました

会員募集中

「愛の灯台」とは、ヘレン・ケラーの言葉「皆様の持っているランプの灯をいまいし高く掲げて目の不自由な方々の行く手を照らして欲しい」に由来します。福祉社会へとつながる道を照らす「灯台(光)」を意味します。

私たち「愛の灯台基金」は、「愛光」の展開する福祉事業を支援すると共に、地域社会の福祉文化向上の推進と地域貢献活動を目的に平成15年より活動しています。

年会費は、一口1,000円からです。地域社会・福祉向上にご賛同いただける方、一緒に活動しませんか? お待ちしております!  
団体でご入会いただける方は、一口10,000円からとなります。

お問い合わせ先  
愛の灯台基金  
事務局まで

住所: 愛光本部  
(佐倉市山王 2-37-9)  
電話: 043-484-6398  
FAX: 043-484-6396  
toudai@rc-aikoh.or.jp

### 編集後記

・夏本番! ハートも温まる号になったのではないかと思います。秋祭りもお楽しみに。(佐藤)

・今回取材していく中で地域のさまざまな情報にふれ、広報作成のヒントを得ることができました。今後その成果を発揮できるよう努めてまいります。(林)

#### 【編集委員】

林拓也(総務部) / 角田絵友(ルミエール) / 斎藤美佳(めいわ) / 佐藤友里恵(リホープ)  
竹崎未紗(はちす苑) / 川上昇平(南部包括) / 椎名豊(ワークショップかぶらぎ)

# 第二十四回

# 愛光

# 秋まつり

## 催し物

吉成 ゆいさんの  
ミニライブ

清丸太鼓演奏

よさこいソーランチーム

「四街道舞謳歌」演舞

盲導犬紹介

「見えない世界を  
見てみよう」

秋まつり恒例 **大抽選会!**

他、移動販売車・模擬店、  
展示等多数あります!



平成30年

# 10月6日(土)

## 11:00~15:30

会場

# 社会福祉法人愛光



物井⇄会場間送迎あります  
(10:00~16:00)

※会場内駐車場には限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください

秋まつりにご協力いただける、ボランティアさんを募集しています。下記担当までご連絡ください。

問い合わせ先: めいわ 043-484-6394 担当: 李

このチラシは「ワークショップかぶらぎ」で作成したものです。チラシ、封筒、冊子などの作成承ります。お気軽にご連絡下さい。